



臨床倫理セミナー in 鹿児島

—高齢者に対する人工的水分・栄養補給をめぐる—

医療技術の進歩と共に、人が人としての尊厳を持って生きていくことについてどのように支援したらよいのか、苦悩することが多くあります。その中でも、高齢者の人工的水分・栄養の問題は課題を多く含む問題です。施設や在宅それぞれの苦悩を分かち合いつつ、どのような倫理的対応が必要か学びたい考え企画いたしました。今回の課題への検討は、全ての倫理的課題への取り組みにも共通することだと思えます。活発な討論がされることを期待しています。

◆基本講演「高齢者の人工的水分・栄養補給に関する問題」

清水哲郎先生

(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター
上廣死生学講座 特任教授)

会田薫子先生

(東京大学死生学・応用倫理センター特任研究員)

◆事例検討：2例報告（施設部門から1題、在宅部門から1題）

日時：2011年8月28日（日）9:30～17:00

会場：レクストン鹿児島2Fフリージア（定員120名）

鹿児島市山之口町4-20 TEL：(099) 222-0505

<http://www.nisikawa.net/lexton/>

主催： 社団法人日本老年医学会平成23年度老人保健健康増進等事業
「高齢者の摂食嚥下障害に対する人工的な水分・栄養補給法の導入を
めぐる意思決定プロセスの整備とガイドライン作成」
ワーキンググループ

共催：鹿児島県公的病院等看護部長会

後援：東京大学グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

■参加費：資料代・昼食代等（ ）円

■参加申し込み・お問い合わせ：クオラリハビリテーション病院 谷川智子

E-mail：cct131@qoler.jp

所定の申込用紙をメールでご返信ください。お断りする場合にのみ、連絡いたします。

(FAXでも可：0996-53-1705)

TEL：0996-53-1704 090-3323-1977